

よみやま洋司 通信

YOJI YOMIYAMA

延岡市はこんなに変わりました ～なんと、若い世代の人口が増えています!～

よみやま洋司は「延岡市民はもっと良い暮らしができるはずだ。」との確信を持って3年間全力で「市民目線改革」に取り組んできましたが、このように次々と成果が出ています。なんと、25～39歳の人口も増加中!

例えばこんなに良くなりました! (詳しくは次ページ以降に)

- 令和元年以降 **25～39歳の人口増加中**、IT企業 **誘致増加**
- 新たに **短期大学** が延岡駅前に開校
- 年中無休の「**なんでも総合相談センター**」オープン
- 子ども医療費 **中学3年生まで** 月350円でOK
- **小児科** 病院増加。ゼロだった **病児保育** が2ヶ所に、1ヶ所だった **病後児保育** が2ヶ所に。
- 「隠れ待機児童」解消に向け **保育園定員が220人増**
- 小中学校の普通教室 **エアコン整備0%が100%** に。
- 小中学校1人当たりパソコン台数県内最下位がトップに、**1人1台実現**



なんでも総合相談センターオープン



IT企業誘致も次々に実現



小田原短期大学延岡スクール入学式



新たな循環バス実証運行

- 公園 **遊具充実**、**キッズランド** や **ドッグラン** オープン。
アウト・オブ・キッズニア 本年延岡初上陸 (宮崎県初)
- 水道料とごみ袋は **値下げ**、介護保険料と国民健康保険料 **値上げせず**
- 循環バスや乗り合いタクシー **路線増へ**、**料金割引も拡大**、**シェアサイクル** もスタート

- ふるさと納税 **6千万円台から6億円超** に大幅増 (地元の返礼品売上も大幅増)
- 牛の飼育頭数が **3年連続増**。**農山漁村版ハローワーク** 設立。
延岡の **魚県外大都市や海外との取引拡大**



西階の多目的屋内施設のイメージ

- 西階地区に **防災施設兼屋内練習場整備・野球場再整備** スタート、
県 **体育館 (2棟) 整備** スタート、市の建設工事の全体予算 **1.7倍** に (H30: 51億円→R3: 87億円)

※「誰が市長になっても何も変わらない」ことはありません。「誰が市長になるか」でまちは大きく変わります。このことがこの3年で明らかになりました。



公園の遊具も充実



よみやま(読谷山)洋司のプロフィール

昭和39年生まれ、宮崎県延岡市出身

昭和61年…東京大学経済学部卒業

同 年…自治省 (現在の総務省) 入省。以後、同省財政局主査、大蔵省銀行局課長補佐、総務省大臣官房企画官、国連コンサルタント等を歴任

平成17年…愛媛県総務部長

平成20年…内閣参事官

平成22年…岡山市副市長

平成24年…退官し延岡に帰郷、子育て支援会社を設立・経営、長崎県立大学教授・企業コンサルタントを兼務

平成30年…延岡市長就任

延岡がどう良くなったか、以下具体的にお示しします。

延岡はこの3年でこんなに変わりました。

○市民所得アップへの取組み（25～39歳の人口が令和元年度以降 増え続けている!）

（1）雇用・産業

- ⇒起業・創業支援策を大幅に強化、クラウドファンディング活用も支援
- ⇒クリアパーク工業団地完売、新産業団地整備へ、東京のIT企業も進出
- ⇒コワーキングスペースやリゾート地を拠点にDX&ワーケーション推進



海外からの観光客も増加

⇒厚生労働省モデル事業（全国14地域選定）により人材育成事業実施中

⇒高千穂町や宮崎市等から新たな人の流れをつくり観光客増、国文祭・芸文祭で更に誘客強化

⇒地元事業者と「外」をつなぎ「外貨」を稼ぐ「延岡経済リンケージ機構」令和3年度中に創設へ。

⇒U・I・Jターン人材や、副業・兼業人材の活躍も視野に県内市町村で初の事業承継等支援センターを令和元年開設

⇒政府の「スーパーシティ」に挑戦中（全国や海外の107の企業・大学と連携）

（2）安い経費で暮らせるまちに

- ⇒子ども医療費助成拡大（今年4月から中学3年生まで対象拡大（診察時間内））
- ⇒新たなバスネットワーク（今年度4エリア新循環バス実証運行+東京大学と連携+4地区で小型車両運行支援）
- ⇒70歳以上の市民の約7割に最大7,000円のバス代支援
- ⇒新電力会社設立検討
- ⇒既に水道料金とごみ袋を値下げ済・介護保険料と国民健康保険料は値上げせず
- ⇒中小企業の生産性向上のための「固定資産税3年間ゼロ政策」実施中



市内の全ての金融機関と連携しリンケージ機構スタートへ



製造現場視察の様子



小回りのきく車両で地域交通を確保

○延岡駅前がおもしろくなってきた！

（1）雇用・産業の拠点としての駅前（第3セクターがビジネスビル整備）

- ①旭化成(株)、IT企業、金融機関などが入居
- ②コワーキングスペースも整備・延岡のデジタル化拠点に
- ③周辺空き店舗でのチャレンジショップ開設支援強化・高校生のチャレンジショップ開設も支援



延岡駅前にIT拠点が今年の秋にオープン



新たな循環バスの実証運行も次々に実施

（2）学びの拠点としての駅前

小田原短期大学延岡スクールが昨年10月空き店舗にオープン（大分県南からも通学）

（3）交通の拠点としての駅前

- ①シェアサイクルPiPPAスタート（西階～県体育館～内藤・野口記念館～市役所～商店街・延岡駅の周遊コース化へ）
- ②新たな循環バスも含め交通ネットワーク拡充へ



シェアサイクルPiPPA

○東九州クロスポイント構想も着実に進捗

- ⇒新たな産業団地整備、九州中央道の整備進む、日向・細島港での新たなふ頭整備開始と連携
- ⇒土々呂・伊形などの南部地域振興着手、ユネスコエコパーク拠点整備着手、植物園魅力アップ、ドッグラン整備
- ⇒九州中央道整備促進・東九州道四車線化をさらに働きかけ



スポーツキャンプ誘致も次々に実現

○アスリートタウン再構築

- ⇒県体育館との新たな整備（今年着工、2棟整備で東九州で一番の体育館に）
- ⇒西階地区で防災兼スポーツ用室内施設の整備、野球場整備にも着手、国体も見据えた対応
- ⇒誘致キャンプも増加

○第一次産業を市政の柱に

(1) 農業・畜産

- ⇒JA延岡と連携した増頭対策により牛の飼育頭数が平成30年以降 **3年連続増加**（飼料用イネの生産増にも）
- ⇒南浦地区に農業株式会社が進出、新たには場整備着手（沖田地区）、有害鳥獣対策強化
- ⇒**所得10%アップ**のためのアクションプラン実行中、**農山漁村版ハローワーク・ECサイト**スタート、新規就業者支援



ECサイトもスタート

(2) 水産

- ⇒基盤整備支援などを強力に推進、補助金新設、延岡での現地商談会の開催
- ⇒「のべおかの魚」続々と県外大都市や台湾に進出



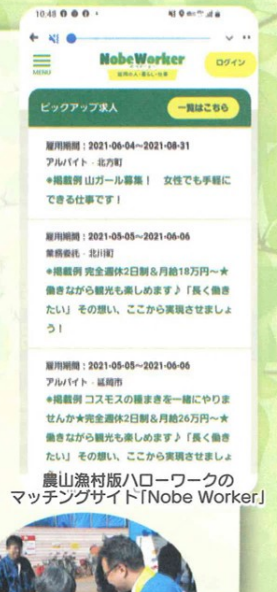
農家の方々と現場で話し合っています。

(3) 林業

- ⇒新規就業者支援
- ⇒基盤整備から6次産業化まで強力に推進
- ⇒市産材を公共施設に積極活用（延岡城・内藤記念博物館、野口遵記念館等）
- ⇒新規就業者支援



台湾企業経営者との商談会



農山漁村版ハローワークのマッチングサイト「Nobe Worker」



大阪での延岡の魚のPR

○市民の暮らしを守る

- ⇒年中無休で専門家（医師・弁護士など）直結の「なんでも総合相談センター」フル稼働中
- ⇒地域通貨「のべおかCOIN」・地域ポイントスタート（健康づくりやボランティアでポイントがたまり買い物やバスで使える）



障がい者就労支援アンテナショップ（市役所1F）



介護サービス最前線の方々と意見交換

- ⇒市庁舎1Fの就労支援アンテナショップ好評、2Fのレストランも障がい者雇用重視
- ⇒「親亡き後の暮らし支援策」検討スタート、障がい者が自宅で首都圏の仕事をする在宅就労も促進
- ⇒基幹相談支援センター市内に3ヶ所開設
- ⇒全国で2番目・広域（県北市町村連携）による「権利擁護センター」（成年後見サポートセンター）開設
- ⇒介護予防・健康づくり支援も強化
- ⇒認知症カフェ（市内3ヶ所）設置・運営支援
- ⇒パートナーシップ宣誓制度スタート、多様性の尊重
- ⇒国道10号線渋滞解消・南延岡駅バリアフリー化への要請活動も一層強化
- ⇒新たに富美山地区コミュニティセンター開設



新たに富美山地区コミュニティセンター開設

○次世代を育てる

- ⇒保育園定員220名以上増、病児保育0ヶ所⇒2ヶ所、病後児保育1ヶ所⇒2ヶ所、放課後児童クラブ設置増（7施設増）
- ⇒東北の悲願・医療的ケア児ショートステイオープン
- ⇒東京学芸大学とも連携して新たな教育政策推進→令和3年度「延岡こども未来創造機構」設立し知力・体力・人間力を育む（STEAM教育、イングリッシュキャンプ、アウトドア体験、プレーパークなど）
- ⇒キッズランド整備、今年度「アウト・オブ・キッズニア」開催（県内初）
- ⇒エアコン普通教室整備100%、パソコン全児童・生徒1人1台整備プラスAI導入により1人ひとりにあった学びを実現、慶応大学と連携して新教科「論理コミュニケーション」スタートなど
- ⇒公園の遊具もどんどん整備



「キッズランド」ヘルストピア延岡内にオープン



STEAM教育も実施中

○防災対策の強化

- ⇒屋外放送施設は希望地域**全て**に整備支援済
- ⇒**第二次津波避難施設**整備に着手
- ⇒防災ハンドブック、ハザードマップの全世帯配布
- ⇒「地域主体の災害対応力強化補助事業」を創設、「逃げ遅れゼロ」対策に着手
- ⇒**消防団支援強化**（報酬・補助金アップ等）



防災ハンドブック（全世帯配布済）



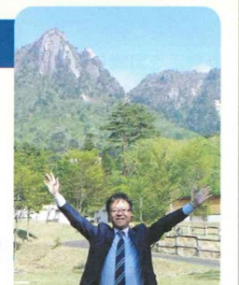
防災情報を提供するアプリ



75歳以上の方などに安価で提供（自動でスイッチが入る防災ラジオ）

○中山間地や離島の素晴らしさを大切に「延岡合衆国づくり」を

- ⇒三北の道路など基盤整備事業費3年間で**3.6倍**と大幅増（H30:2.3億円→R3:8.4億円）、**決裁権限の8割**は現場に
- ⇒北方・北川でのユネスコエコパーク拠点整備
- ⇒北方町で市内第1号の貨客混載型交通、北方学園プール整備、延岡市初の中山間地域総合整備事業着手
- ⇒北方町でスマート農業実証事業スタート、学校跡施設に企業誘致実現
- ⇒北浦町に整備される漁業用製氷施設の整備を市も支援、北浦町独自観光ツアー造成、避難所整備
- ⇒北川町で延岡市として初の堤防整備事業着手、道の駅の防災拠点化
- ⇒島野浦島の無料救急搬送実現・全戸受信機整備・新たな交流施設整備支援・地域IoT実装計画に基づく新学校整備・一斉ワクチン接種実現





延岡城・内藤記念博物館の完成予想図

○文化振興も強力に推進

- ⇒初の本格的「市史編さん」スタート
- ⇒**県内初のパークPFI手法**により城山周辺に**古民家風**カフェ&インフォメーション整備へ
- ⇒文化財に光を当てる
- ⇒**県北初の**国認定公開承認施設「延岡城・内藤記念博物館」(美術館機能も有)整備中
- ⇒国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭で多くの事業が開催
- ⇒野口遵記念館も整備中



野口遵記念館完成イメージ図

○環境対策を強化

- ⇒ESD(持続可能な開発のための教育)の拠点・ユネスコスクール設置
- ⇒浄化槽整備に対する補助強化
- ⇒**脱炭素社会づくりに向けた取組み**
- ~ペーパーレス推進、脱マイカー強力に推進、シェアサイクル導入、新電力会社設立検討



100人市民会議

○「市民目線改革」もフル稼働

- ⇒**100人市民会議**、情報公開・市民参加促進のための**新たな条例成立**、**地域担当職員配置**
- ⇒移動市役所や出前市長室も曜日を問わず相次ぎ開催、**令和3年から若者と一緒にもちづくり検討開始**
- ⇒スマホ納税など来庁不要の行政手続の増、「おくやみコーナー」設置



曜日・時間をとわず「出前市長室」開催

○新たな財源確保・行財政改革

- ⇒新電力会社の設立検討、**ふるさと納税大幅拡大**(H29 6千万円台⇒なんと現在**6億円超**)
- ⇒国・県の財源フル活用(国のモデル事業指定補助金や、有利な地方債、コロナ交付金などを有効活用)
- ⇒職員削減、民間委託推進、債務残高減少(**51億円減**)
- ⇒オープンカウンターや入札対象拡大などで地元事業者参入機会拡大&経費削減
- ⇒RPA(デジタルロボット)導入により市職員の勤務時間**3,000時間削減**・働き方改革推進

○官民連携の先進自治体として多くの実証事業等を展開中

- ⇒シェアサイクル、リモート相談、くらしのwebガイド、テイクアウト等の「中食」支援、東京大・慶応大などと連携事業

延岡市独自のコロナ対策を現在強力に実施中

(以下はその一端です。)

厳しい経済や暮らしの支援に全力で取り組んでいます。

○感染予防対策

市独自のPCR検査実施

- 外出が減る中データ活用等で認知症・骨粗しょう症・脳梗塞・心筋梗塞等の予防対策実施
- リモート相談体制構築**、スマートフォン決済サービス拡充
- 自力でワクチン接種に行くことが困難な方々へのタクシー代支援、三北バス増便

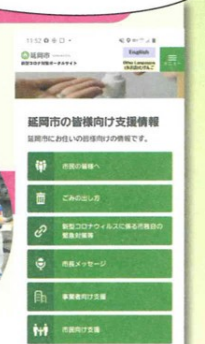
○緊急経済対策

市独自の事業所向け緊急支援金で広範囲にさまざまな事業者を支援

- 兼業可能で時間・曜日も相談に応じる**緊急雇用創出事業(200人規模)**
- 宅配タクシーやクリックディッシュ導入で飲食店&タクシー支援プラス感染予防税の減免、猶予
- IT導入補助など事業所のデジタル化を支援
- 30%のプレミアム応援キャンペーン&商品・サービス券(電子版も。第2弾も実施中。)**



コロナ対策に全力を尽くしています。



コロナポータルサイト



飲食店を訪問しコロナ対策を協議

○くらし支援・学び支援

- 水道料金の基本料金2か月無料**
- 市内全域に光回線整備
- オンライン学習のための学校パソコン1人1台整備
- 放課後児童クラブやファミリーサポートセンターでの支援拡充
- 緊急教育資金融資事業(無利子・無担保)**
- シニア世代のインフルエンザ予防接種無料化
- 住宅確保給付金 等



電子版プレミアム商品券・地域通貨「のべおかCOIN」

※ 第1次~15次にわたる対策は総額約216億円

ここに掲げた以外にもさまざまなことが実現していますが、よみやま市長はさらに馬力を上げて「市民目線改革」を実行していきます。皆さん、もっと豊かで、もっと楽しく、もっと明るい延岡を一緒につくっていきましょう。

よみやま洋司後援会事務所

〒882-0026 宮崎県延岡市柚の木田町1307

【TEL】0982-27-5509 【FAX】0982-27-5584

【E-mail】yomiyamayoji.jimusyo@gmail.com 【ホームページ】https://www.yomiyama-yoji.jp

★少人数でも意見交換実施中です。是非ご連絡下さい。